

		全体	公共下水道	集落排水施設	浄化槽		その他	早期概成手法	備考 (早期概成手法の内容)
					個人設置型	市町村設置型			
整備手法	整備人口(人)	20,900	20,900					小型マンホールの使用、マンホール最大間隔の延伸、再生材及び発生土の利用を積極的に行い、コスト削減、工事期間の短縮に努める。 未整備地区である市街化調整区域は市街化区域に隣接する既存集落であることから公共下水道で整備する。また、コスト削減対策を施し効率的に未普及地区解消を図る。	
	整備面積(ha)	216.5	216.5						
目標値	汚水処理人口普及率(%)	100	100						
	公共下水道区域内普及率(%)	100	100						
計画水量(m <sup>3</sup> /日)		78,000	78,000						
計画汚泥量(t/日)		38.5	38.5						
概算事業費	総建設事業費(百万円)	6,591	6,591						
	年間維持管理費(百万円/年)	1,245	1,245						
	計	7,836	7,836						
整備人口1人当たりの建設費用(千円/人)		315	315						
実行メニュー	公共下水道の整備推進	○	○						